

ひょうご留学生インターンシップ2023 最終報告

(一社) 大学コンソーシアムひょうご神戸

以下の通り、最終報告いたします。

1. 参加学生数、受入先数

	実習決定	修了
参加学生数	40名	38名
参加大学数	12校	12校
受入企業・団体数	22社	21社

2. 参加者の属性

所属大学	実習決定	修了	参加学年	実習決定	修了
芦屋大学	1名	1名	1 回生	0名	0名
関西学院大学	3名	3名	2 回生	0名	0名
関西国際大学	1名	1名	3 回生	14名	13名
甲南女子大学	1名	1名	4 回生	11名	11名
神戸学院大学	2名	2名	修士 1 年生	11名	10名
神戸芸術工科大学	2名	1名	修士 2 年生	4名	4名
神戸国際大学	9名	9名	合計	40名	38名
神戸親和大学	2名	2名			
神戸大学	9名	9名	出身国・地域	人数	人数
兵庫県立大学	4名	4名	インドネシア	4名	4名
兵庫大学	3名	3名	スリランカ	1名	1名
流通科学大学	3名	2名	ドイツ	1名	1名
合計	40名	38名	ベトナム	12名	12名
			マレーシア	1名	1名
性別	人数	人数	ミャンマー	1名	1名
男	17	17	韓国	1名	1名
女	23	21	香港	1名	1名
合計	40名	38名	台湾	2名	2名
			中国	16名	14名
			合計	40名	38名

3. 受入先企業および受入人数

	企業・団体名	実習決定	修了
テーマ・就労体験型	白鶴酒造株式会社	2名	2名
	株式会社中央電機計器製作所	1名	1名
	株式会社JT B	1名	1名
	豊開発株式会社	1名	1名
	センコー株式会社	2名	2名
5社		7名	7名
就労体験型	株式会社奥谷金網製作所	1名	1名
	株式会社千代田精機	2名	2名
	日本テクノロジーソリューション株式会社	2名	2名
	株式会社ヤマシタワークス	3名	3名
	工パオン株式会社	4名	4名
	株式会社 E C C	1名	1名
	株式会社学生情報センター	1名	0名
	株式会社三洋航空サービス	1名	1名
	株式会社ブレックス	5名	5名
	株式会社みなと銀行	6名	6名
	情報セキュリティ株式会社	6名	6名
	株式会社ハオスアイティーホールディング	2名	2名
	医療法人社団 星晶会	4名	4名
	一般社団法人 福祉心話会	2名	1名
	公益財団法人 兵庫県国際交流協会	1名	1名
15社		41名	39名
オープンカブリー	伊福精密株式会社	1名	1名
	株式会社ノーリツ	1名	1名
2社		2名	2名
計22社		50名	48名

※2023/9/12現在（修了見込みも含む）

■ は2023年度新規受入企業

【参考：これまでの修了人数推移等】

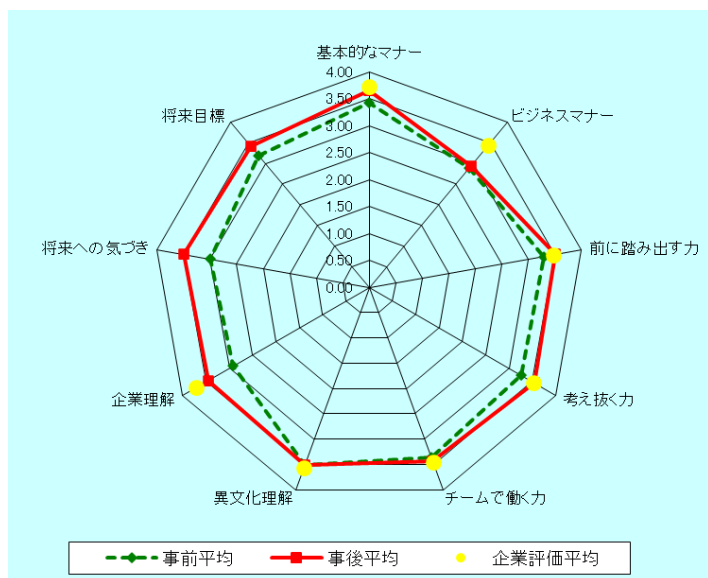
	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
実施時期	2013/6~10	2014/6~10	2015/6~10	2016/6~10	2017/6~10	2018/6~10	2019/6~9	2020/6~9	2021/6-9*	2022/6-9*	2022/6~9
修了学生数	51名	47名	42名	56名	36名	40名	34名	19名	30名	43名	38名
参加大学数	15校	14校	11校	12校	9校	10校	10校	7校	9校	8校	12校
受入企業・団体数	24社	24社	25社	26社	20社	24社	22社	10社	13社	22社	21社
インターンシップ件数	24件	25件	26件	27件	20件	24件	22件	11社	13社	22社	21社
テーマ型	6件/12名	2件/4名	3件/5名	2件/5名	-	-	-	-	-	-	-
テーマ・就労体験型	-	-	4件/9名	3件/7名	5件/9名	6件/8名	3件/5名	3件/5名	9件/21名	6件/13名	5件/7名*
就労体験型	18件/39名	23件/43名	19件/28名	22件/44名	15件/27名	18件/32名	19件/29名	8件/14名	5件/9名	17件/30名	17件/41名*

*10月以降実習も含む *10月以降実習も含む *うち2か所実習:10名

※当インターンシップ事業：2009年度より15年継続

4. プログラムの成果（外国人留学生）

◇参加学生の自己評価（事前・事後）



◇参加学生アンケートより

* 日本企業や日本で働くことについて参加前と比較して、
⇒理解できるようになった

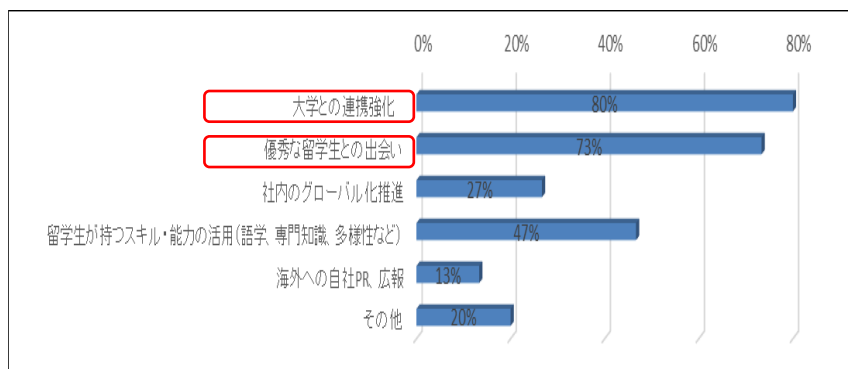
・やや理解できるようになった（100%）

* 留学生インターンシップに参加して良かった点
日本の企業・団体を知ることができた（73%）
自分自身の適性や課題を知ることができた（62%）
社会人として必要なマナーや敬語が学べた（60%）
今後の学業や就職に向けての意欲が高まった（57%）
社会人と知り合うことができた（51%）
他大学の留学生と知り合うことができた（49%）

5. プログラムの成果（受入企業）

◇受入企業・団体のアンケートより

・留学生インターンシップ受け入れの理由・メリットと考えている点は？



【その他】

・会社の多様性の推進。
・インターンシップ生の指導を通じて、社員の成長を期待している。
・事業広報と人材獲得の機会として。

・上記の項目について今回の留学生インターンシップは効果があったか？⇒効果があった（100%）

- ・業界のことをまったく知らない留学生からの意見やアイデアがおもしろい。
- ・日本語能力も高く、真剣に日本での就職を考えてくれている学生に出会えた為。
- ・実習生は大変前向きな姿勢で業務に取り組んでくれ、当方の事業についても関心を持ち、理解を深めてくれたと感じる。
- ・今回のインターンシップから選考方法が変わったが、結果的にどの学生も大変熱心に業務に取り組んでいた。留学生からの意見を聞くことができ、今年も参加して良かったと思っています。
- ・学生さんと出会いがあり、今後、採用に繋がることを期待しています。
- ・普段なかなか接点のない国の学生とやりとりができ、価値観や文化の違いを受け入れる社内の耐性ができただけでなく、その人自身を観る社内のいい訓練になっているように感じた。
- ・現在も多くの外国籍の方に働いていただいています。違和感が減少し、多様性を受け入れる職場になってきています。
- ・大学のキャリアセンター様へのつながりができた。
- ・受入れた学生全員が高度人材と思えたこと。採用を検討したいと思える学生だった。

・次回以降のインターンシップ受け入れについて

⇒受け入れる予定、または、条件が合えば受け入れたい（100%）